

様式第4号その①（第6条関係）

令和3年 4月 7日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 井浦潤也

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙
のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和2年度政務活動費収支報告書

議員名 井浦 潤也

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	0	0
資料作成及び資料購入費	87,120	87,120
広報及び広聴費	206,800	176,880
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	293,920	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

令和2年度政務活動費明細一覧表

No	内容	項目	費目											領収書額	政務活動費 報告額	
			旅費	講師 謝金	出席 負担金	印刷 製本費	図書 購入費	備品 購入費	消耗 品費	使用料	郵送料	手数料	賃金			その他
1	「日本教育新聞」	資料作成・資料購入費							33,000						33,000	33,000
2	「日本農業新聞」	資料作成・資料購入費							31,476						31,476	31,476
3	公明新聞代	資料作成・資料購入費							22,644						22,644	22,644
4	印刷費	広報及び広聴費				206,800									206,800	176,880
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
合計						206,800			87,120						293,920	264,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費	87,120	87,120
広報及び広聴費	206,800	176,880
人件費		
事務所費		
合計	293,920	264,000

新聞代(1紙目)

領 収 証

No. _____

井 浦 潤 也 様

令和3年3月31日

★ ¥43,200-

但、西日本新聞朝刊(令和2年4月~令和3年3月分)代金

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

福岡県宗像市三倉2番18号
西日本新聞 エリアセンター東郷
日本経済新聞
TEL(0940)36-2316 FAX 37-1627

No. 058304

領 収 証

井浦 潤也 様

金額 ¥ 33,000-



但し購読料2020/4月~2021/3月として
2021年 3月 8日

(自動口座振替)

上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 入

株式会社 日本  新聞社

東京都港区白 10
〒108-8638 電話  25

扱
者
印

※上記発行先・金額の訂正は無効です。

No. 074613

領 収 証

井浦 潤也 殿 令和 3年 4月 6日

受渡月	品名	数量	単価	金額	利息	備考
※	日本農業新聞 購読料		円	3,476 千円		
	R.2年4A ~ R.3年3A					
	「※」は軽減税率対象を示します。					
	(10.0% 対象)				円)	
	(8.0% 対象)			3,476	円)	
合 計 件 数 件				3,476 千円		

上記の金額確かに領収いたしました。

宗像農業協同 

認 印

取扱者





3

領 収 証

井浦潤也様 令和3年 3月31日

★ ¥ 22,644 -

但 公明新聞(2020/04~2021/03)代として、
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(8%)込

聖教新聞宗像販売店

〒811-3405 福岡県宗像市須恵4-4-27

TEL 0940-33-2900

FAX 0940-33-2988

コクヨ ウケ-1048

領 収 証

いづら潤也 様

¥ 206,800 -



但 し いづら潤也通信2020印刷代
上記金額正に領収致しました

令和 2 年 9 月 16 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊六
DD ニシム
 TEL (0940) 36
 FAX (0940) 36



いづら潤也通信2020



井浦 潤也 議員

ご挨拶

宗像市議会議員として皆様に市政に送り出して頂き、宗像市の将来を見据え誠心誠意で市政に挑んできました。日頃より、地元のコミュニティ事業に参画していますが、常に市民の皆様と共にまちづくりに携わることで、問題点を見いだし市政に反映することを念頭に活動しています。今後も情熱をもって宗像市の将来を創造していきます。

後援会
事務所

TEL 0940-72-4999 FAX 0940-72-4998
〒811-3440 宗像市大井南 2-3 E-mail jun_yo_koki_b4@yahoo.co.jp

地元からの要望の一部を紹介

東郷小学校運動場横の防犯灯設置

「平成29年1月」
軟式少年野球チーム「宗像ジュニア」の保護者の方から、東郷小運動場に隣接する市道に街灯がなく、防犯上の問題においても不安との声を頂きました。

また、小学校の教職員の駐車場も真っ暗で校長先生からも不安だと意見を聞き、市に掛け合ったところ、速やかに駐車場前・市道と防犯灯を3機設置できました。



宗像区検察庁跡地の利活用

「平成29年11月」

平成29年度の東郷地区コミュニティ運営協議会のまちづくり懇談会にて、いせきんぐ宗像に隣接する宗像区検察庁跡地建物の早期解体と、解体後いせきんぐ宗像の利用促進に繋がるように意見が交わされました。

その後、衆議院議員宮内代議士にお願いし、平成29年度内に解体が行われました。そのことにより、宗像市としていせきんぐ宗像の利用促進のため、今年度に整備される予定です。



光岡交差点歩道橋の危険箇所修繕

「平成29年2月」

南郷小学校PTA会長より、朝の登校中に児童が光岡交差点の陸橋の階段で足を引っかけ転倒しそうになったと連絡があり、もし転倒していれば大怪我に繋がっていたとのことでした。

国道3号線の管理者は国土交通省であり、地元の衆議院議員宮内代議士にお願いしたところ、すぐに管理者である北九州国道事務所の出張所長が現場を確認、速やかに修繕してくれました。



南郷地区コミュニティセンター駐車場整備

「令和元年6月」

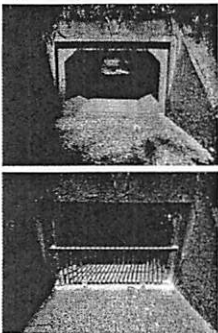
平成29年9月、南郷地区コミュニティ運営協議会の高宮会長より、市の計画でもある南郷コミュニティセンターの駐車場整備の件で、地元の意向を反映したいと依頼を受け、担当部長・課長に現地に直接要望を聞く、よう掛け合い、現地に協議を行った。



横山地区のため池胡麻ヶ谷池の流入口の整備

「平成30年9月」

横山地区の農業従事者の方から、豪雨の際に農業用ため池の流入口から倒木等が入り込み、その後の撤去作業等に苦慮している。その為、大雨が降るたびに流入口まで行き、大きな倒木が入らないように倒木を紐で括りつけたりと大変危険な作業をしていたとの事だった。すぐに市に掛け合い、ため池の流入口に倒木等が入らないように、鉄の柵を設置することができた。



地元での活動の一部

常に地元での活動に参画し、市民の皆様と協力してまちづくりに携わっています。

東郷地区「コミュニティ運営協議会」、青少年育成部会副部長として、コミュニティ活動を行っています。特にここ数年、8,000人近く集まる「夏まつり東郷」では、副実行委員長としてまじりの成功のために皆様と共に汗をかかせて頂いています。また、スポーツを通して、青少年の健全育成のために南の郷クラブ「ジュニアソフトテニス教室」にてコーチをしています。



いづら潤也 プロフィール

- 生年月日 昭和49年12月14日(45歳)
- 略歴
 ・新宮町立新宮小学校卒業
 ・新宮町立新宮中学校卒業
 ・福岡県立新宮高等学校卒業
 ・福岡県議会議員 水戸さかき後援会勤務
 ・衆議院議員 渡辺ともよし秘書として15年間勤務(内5年間は公設秘書)
 ・損保ジャパン(株) 代理店研修生として3年間勤務後、平成25年11月に保険代理店(損保ジャパン)を開業
 ・平成28年10月宗像市議に初当選
- 議員活動
 ・社会常任委員会 副委員長
 ・自民党宗像市支部 事務局長
- 地域活動
 ・東郷小学校PTA 副会長(H23年度)
 ・東郷小学校PTA 会長(H24年度)
 ・中央中学校PTA 会長(H26年度~27年度)
 ・宗像高等学校PTA 副会長(H30年度~R1年度)
 ・中央学園運営協議会 副会長
 ・大井南自治会 会長(H25年度)
 ・東郷地区コミュニティ運営協議会 副委員長
 ・まちづくり部会 副部長(H25年度)
 ・青少年育成部会 部長(H26年度)
 ・青少年育成部会 副部長(現在)
- ・(公社)宗像青年会議所(H9年~26年卒業 内監事1年・理事6年)
 ・宗像市商工会青年部(H23年度~R2年度卒業)
 ・宗像市商工会 田原地区 班長
 ・宗像大社氏子青年会 理事
 ・新宮高等学校同窓会 書記
- 保護司
 ・南の郷クラブ「ジュニアソフトテニス教室」コーチ
 ・白山神社を守る会 会員
 ・ロックバンド(ヴォーカル&ギター)・ソフトテニス・ドライブ
- 趣味・特技
 温故知新 家族 妻・長男(大学1年)・長女(中学2年)

市議会の一貫質問の内容

議会での一般質問にて様々な政策を提案、政策実現に繋げています。
（一部抜粋し集約しています。詳細はQRコードを読み込んで映像をご覧ください。）

H28年12月1日定例会

1 子どもが安全に通える通学路を

「問題点」小・中学校通学路の危険箇所のうち、未解決箇所の早期対応が必要。

「私の提案」危険箇所の早期対応の対策の一つでもある、路側帯のグリーンベルト化を進めるべき。

「成果」改善に時間がかかる箇所では徐々にグリーンベルト化が進み、運転者への抑止力に繋がっている。



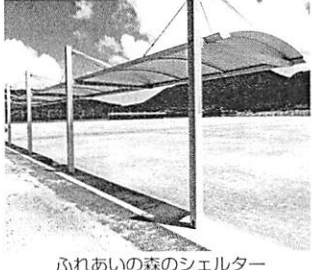
東郷小前の通学路にグリーンベルトが設置された

2 運動公園の安全対策について

「問題点」屋外施設のスポーツ事業（部活動等）において、突然の天候変化による落雷の被害に対する対策は、特に、シエルターがないふれあいの森総合公園での対策は。

「私の提案」落雷対策として、避雷針の設置またはシエルターの設置は。

「成果」ふれあいの森総合公園では落雷対策を含む対策として、シエルターが設置された。



ふれあいの森のシエルター

1 小中一貫教育の進め方について

「問題点」小中一貫教育第2期では学校、地域、家庭が一体となって子どもを育てるシステムづくりを目標に掲げているが、地域との連携に課題はあるのか。

「私の提案」地域との連携を深めるために、学校運営協議委員に「コミュニティ運営協議会事務局長の人も必要かと考える。」

「市の回答」コミュニティの運営をされている役職の方が参画して頂くのが最適だと考える。

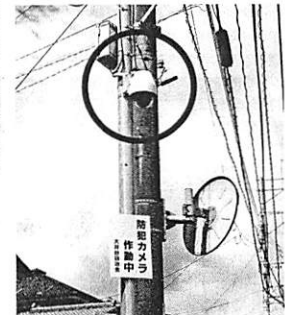
H29年6月13日定例会

1 安全・安心な住環境を目指して

「問題点」東郷地区の自治会から不審者による児童に対する暴行事件があったことを受け、不審者犯罪抑止力や、犯罪の解決に大きな役割を果たしている防犯カメラの設置できないかと相談があったが、これまでは自治会の要望で設置できる制度がなかった。

「私の提案」防犯灯設置と同じように、防犯カメラ設置についても市からの補助という形の制度を作れないか。

「成果」H30年4月1日から、防犯カメラ設置制度ができるようになった。



大井台地区に設置された防犯カメラ

2 伝統行事である山笠の保存と継承について

「問題点」伝統文化として地域づくりに大きな役割を果たしている「宗像山笠振興会」の4つの山笠の保存のため、市無形文化財として検討できないか。

「市の回答」それぞれの山笠は歴史の評価が異なっており、資料調査や現地調査等難しさが予想されるので、慎重な検討が必要と考える。

H29年9月6日定例会

1 これからの団地再生について

「問題点」全国的に人口減少や高齢化が急激に進む中、本市が進める定住化をどのように進めていくのか。

「私の提案」日の里地区や自由ヶ丘地区のような郊外型住宅団地の再生が重要で、計画のモデルにしていくことが重要と考える。

「市の回答」両団地をモデルとして取り組みを行い、公共交通機関の維持確保に努め、最終的には歩いて活動ができるまちづくりを目指している。

2 地場企業の活性化について

「問題点」地場企業がしつかり経営を続けていくためには、景気に左右されず売上向上へのサポート制度が必要と考える。

H29年11月30日定例会

1 空き家の活用対策について

「私の提案」他市で成功事例のある「ビジネスサポートセンター」を設置し、地場企業の育成や、創業に繋がるサポートをしていくことが、本市の全ての商工業者への大きな後押しになるかと考える。

「市の回答」ビジネスサポートセンターが持つ総合相談支援機能は、重要だと考える。このような機能、役割が担えるような取り組みを商工会と一緒に考えていきたい。

「私の提案」本市の努力により、令和2年4月より創業支援やビジネスマッチングも行う「ワーキングスペース「ابد」宗像」がオープン。

2 通学路に歩行者用信号の設置を

「問題点」通学路の交差点の中に歩行者用の信号機がない箇所があり、歩行者用信号機が赤信号になった後、車用信号機が赤信号となるため時差ができ、非常に危険度が高い。早急な対応が必要と考える。

「私の提案」指摘した箇所の一カ所に歩行者用信号機が設置された。

「問題点」空き家の適正管理のためにも、その地域の自治会との協力が重要でしつかり連携を取っていくべきでは。また、地場企業が構成されている「住マイむなかた」を中心に、ワンストップ相談窓口の認知度を上げるべきでは。

「市の回答」空き家対策において、利活用を推進していくためにも地域との連携は不可欠で、更に連携強化を図っていききたい。また、住宅相談や空き家に関する窓口として大きな貢献を頂いている「住マイむなかた」の認知度を上げていきたい。



この歩行者用信号機が設置された【田熊町】

H30年2月28日定例会

1 定住化推進の取り組みについて

「問題点」少子高齢化などにより、行政運営に大きな影響を及ぼすと懸念されることから、その対策の一つとして定住化推進が必要と考える。

「私の提案」定住化補助制度の充実を始め、子育て環境や地域コミュニティの充実にて、住みやすい住環境を更に目指していくことが必要。

「市の回答」H24年度からの定住政策補助制度を始め、補助制度を利用した転入者は4193人で、その内、新築住宅の購入者が340人、空き家対策による中古住宅購入者が445人となっている。子育て環境の充実においては、安全安心な出産や経済的負担軽減等を目標にした事業の展開等を更に推進していきたい。地域コミュニティの充実では、自治会加入の促進等を含めた住環境の整備を継続していきたい。

H30年6月21日定例会

2 これからの農業政策について

「問題点」都市と共生する農業の確立を目指すために多様な担い手の育成、たくましい農業振興、地産地消の推進が重要と考える。

「私の提案」水田においては、水稲以外の作物条件を改善するため、暗渠排水設備の更なる整備が急務と考える。また、農地中間管理事業では、農地の集積を図り農業者に還元できる効率のよい農業に繋げることができると考えるが、更なる推進を進めてほしい。

「市の回答」農地耕作条件改善事業を活用してJAむなかたと連携し暗渠排水整備の新設・更新に取り組んでいく。また、農地中間管理事業を推進し、経営規模の拡大を望む農家への農地の貸付けに繋げ、更には耕作放棄地の防止にも繋げたい。

2 選挙における投票率の向上を

「問題点」今回の市長選挙の投票率は、37.34%と前回より下回り、合併後の新市の市長選挙では最低となった。市民の政治参画や民意の反映を考えると、投票率低下という問題に真摯に向かうべきだと考える。

「私の提案」期日前投票の投票所を商業施設に設置したり、「Cook's Cafe 日の里」のような駅前公共施設にて投票ができるような環境を整えるべきだと考える。

「市の回答」選挙管理委員会の中でしつかり議論していききたい。

豪雨災害への今後の対策について



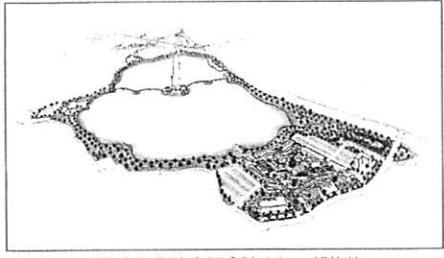
問題点 昨今の豪雨に対する対策を考えると、これまでの記録的豪雨が常に起こりうるという危機意識を持つておかねばならない。市民の安心で安全な生活を保障するためには、あらゆる方策を展開しないといけない。

私の提案 水害対策は待たなしで急務であるが、過去の見解からも釣川の水位を下げるためには「遊水地」が有効であると考え、H26年に宗像市緑化協会の創立25周年記念誌にて、稲元の野添地区から後曲地区、曲地区の水田のある所に「遊水地」を構想されている。その構想を進めることは、以下のメリットが考えられる。

- ・常に浸水に悩まされている赤間駅周辺の釣川より下流にあり隣接していること。
- ・この地区は地盤が不安定で、沈下対策としての費用が毎年500万円計上されており、その予算を削除できる。
- ・現在稼働中のし尿処理場がR5年で稼働停止となることから、その処理水が無くなることで農業用水の確保を「遊水地」から補える。
- ・「遊水地」へ釣川の水を流し込む事で釣川の水位が下がり、下流で合流する山田川への影響も削減される。
- ・「遊水地」の周りを周遊できる公園を設置し、市民の憩いの場にする事ができる。

以上のことから、この「遊水地」構想を進めるべきと考えます。

市の回答 「遊水地」が水害に対する非常に有効な手段であると認識しているが、福岡県の管理下でもあるので、今後も県へお願いをしていきたい。



宗像市緑化協会記念誌より一部抜粋

更生保護サポートセンター設置について



問題点 市民の安心と安全を守る任務を担う保護司の活動拠点であるサポートセンターがなく、今年度、保護司会の方で設置を考へられている。

私の提案 保護司の皆様が市民のために活動できるサポートセンターへの支援をお願いしたい。

成 果 市からの一部経費の負担もあり、H31年2月更生保護サポートセンターが開所された。



更生保護サポートセンター

まずづくりを担う職員の人材育成と確保

問題点 全国的に本市の職員数の少なさはトップレベルを維持しているが、職務の多忙により負担が多くなり、職員が疲弊するようでは本末転倒だと考へる。

私の提案 職員を民間や他の官庁への派遣を行っているが、その経験値はこれからの職員育成にも繋がると思ふ。その職員が、他の職員への報告会等を通じて、意識改革に繋げる必要がある。

市の回答 職員の人員確保には定数管理指数がありますが、行政需要の増加が見込まれることから、職員の増を図っていききたい。また、派遣先から戻ってきた職員については、原則として経験したことが生かされる配置を行っている。また報告会を通じて、他の職員へも業務内容を共有できるようにしている。

コミュニティ政策の展望について



問題点 本市は「コミュニティ運営協議会」を中心とした地域分権、地域と行政の協働によるまちづくりを推進してきたが、共通の問題点は自治会の担い手不足など、自治機能の低下に繋がることが懸念される。

私の提案 自治会加入率を上げるためには、市の広報誌等に楽しい企画の記事を記載する等の工夫が必要では。また、地域コミュニティ単独の取り組みでは限界があり、NPO、大学、企業等の多様な主体と連携を取ることも進めるべきでは。「コミュニティ機能の充実・強化を考へると、行政からの委託業務や依頼事項等の負担軽減も重要である」と考へる。

安全で歩ける歩道の整備について



問題点 通学路を始め高齢者の方が安心して歩行できるような道路環境が急務と考へる。

私の提案 歩道が確保できない道路の路側帯のカラー舗装や、段差を付けたハンブの活用はできないのか。

市の回答 歩道のない危険な通学路のカラー舗装は、H25年からH29年までで16カ所、4キロメートル整備している。また、道路に凸部を設けて車両の速度抑制を促すもので利点を感じているが、まずはイメージハンブの活用を検討していきたい。



(参考) 新宮町が行っているハンブ

小中一貫教育の展望について



問題点 第Ⅱ期小中一貫教育として家庭・地域との連携の充実を目指してきたが、その成果とは。また、4月よりコミュニティ・スクールをモデル校として2校に導入予定だが、周知はできているのか。

私の提案 各学園で、それぞれの地域と連携した特色ある活動を行っているが、学園を跨いだ情報共有が重要と考へる。また、「コミュニティ・スクール」導入へは、地元コミュニティ運営協議会への周知を徹底してほしい。

市の回答 学校運営評議員会の充実により家庭や地域の意識が高まり、具体的な協働活動が実現してきたと考へる。小中一貫教育研究発表会では、その学園の活動実績が確認できるので、情報やノウハウを共有できるものにしていきたい。「コミュニティ・スクール」導入については、保護者や地域の代表者の方々に、個別で周知していきたい。

渋滞のない道路整備



問題点 東郷橋を境に病院や企業が誘致されている事は、本市にとって重要な施策であるが、既に渋滞している県道の今後の対策が必要と考へる。

私の提案 混雑の中心でもある東郷橋の歩道がかなり広いので、右折レーン等の拡張を県へ提唱してほしい。また、東郷橋を挟む信号機は両方とも時差式で、片側からの右折ができないうちにあるので、「天印式信号機」の設置要望もしてほしい。

市の回答 東郷橋の改良については、車道と歩道の構造が違う場合もあるが、県へ相談していきたい。信号機については、これまで幾度となく県警に調整をお願いしている現状になっているが、再度要望したい。



東郷橋東交差点からみた東郷橋

これからの企業誘致について



問題点 企業誘致による市民への波及効果は、税収の増加、新規雇用の発生、定住人口の増加により消費拡大が見込まれ、地元生産者や事業者への新たな需要が挙げられる等効果は大きい。しかし、本市には企業誘致が可能な土地が少なく、限られた場所への誘導が必要になると考へる。

私の提案 平成27年度策定の第2次都市計画マスタープランから、若宮インターから約4kmの場所でもある「朝町地区」が工業流通業務地として位置付けられているが、地権者の方々が安心して売却できるように市がしっかりと調整役となるべきでは。

市の回答 すぐに企業誘致が可能な土地が少なくなっているが、今後は民間所有の産業用地の確保にも働きかけをしていきたい。「朝町地区」の土地については、市としても貴重な用地と認識しているので、地元としっかり話を進めていきたい。

渡船事業のスムーズ化



問題点 市営渡船航路は大島航路と地島航路があり、島民の生活に欠かせない交通事業である。特に世界遺産登録の影響もある大島の観光客の増加により、ターミナルの券売機で列ができていくことも少なくない。

「私の提案」 観光客の混雑に悩まされることもある券売機に、交通系電子マネーの導入を行い、ストレスなく速やかに乗船できる必要があると考えるが。

「市の回答」 本市の渡船事業に合った交通系電子マネーがどのようなものが調査し、検討していきたい。



福岡市が導入している電子マネー機器

R1年9月5日定例会

1 公共施設の効率化について

「問題点」 人口減少に伴う経済・産業活動の縮小による税収の減少や高齢化の進行から、地方財政が益々厳しさを増す中、公共施設等の既存ストックを有効活用と公的不動産の再編が重要になってくる。

「私の提案」 多くの公共施設の中でも、本市の中心的な存在でもある「ユリックス」と「メイトム」の連携と効率化の観点から、「一体化ゾーン」の構築で市民の利用価値を上げることが必要と考える。また、公共施設の存続のために民間の知恵を取り込んだ稼働公共施設を目指すべきだと考える。

「市の回答」 「ユリックス」と「メイトム」は、設置目的や利用用途は違っても、一体的に利用したいというニーズに各施設の特徴を生かせるような方策やPRを検討したい。また、今後の公共施設の存続、民間手法の導入によるサービスの向上や集客増、収益改善を図り、魅力を高めていくような取り組みを進めたい。



ユリックスとメイトムの上空写真

2 学校の安全対策について

「問題点」 学校は子どもたちの健やかな成長と学習活動を行える場所であり、当然ながらその基盤として安全で安心な環境が確保される必要がある。

「私の提案」 学校内での不審者に対する対策として、文科省の学校施設防犯対策に関する調査研究報告書の通知「通報装置に照会がある」「防犯ベル」や「ペンダント型押しボタン」のような

緊急連絡通信機等を各クラスに設置することが必要と考える。また、不審者などへの対応に文科省が予算措置をしている地域の見守り隊を育成する「スクールガードリーダー」の活用はできないか。

「市の回答」 今後の更なる防犯力強化について、緊急連絡通信等の機器導入を含め検討したい。また、「スクールガードリーダー」の制度設計では、地域との連携体制の構築を含め理解して頂くことが大事と考える。



文科省が照会している「防犯ベル等」

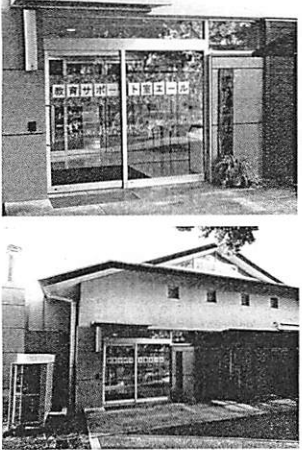
R1年12月5日定例会

1 不登校児童生徒のさらなる支援を

「問題点」 不登校児童生徒が増え続ける中、学校に代わって通所できる「教育サポート室エール」の役割は大きなものとなっている。また「エール」に通えない児童生徒への対応策として、家庭訪問事業も開始されているがその状況は。

「私の提案」 通所者が増加傾向にある「エール」の更なる拡充と、支援体制の強化が必要と考える。また、今年度開始された家庭訪問事業においても、児童生徒の大きな後押しになるので、しっかりとした体制づくりが必要と考える。

「市の回答」 今後「エール」への通所者が大幅に増える場合には、更に受け入れ体制を整える事が必要と考える。家庭訪問相談支援員派遣事業は非常勤の職員が専任的に当たっているが、派遣する職員を常勤化する必要があると考えている。また、福教大生にもボランティアとして参画してもらっているが、今後も継続していきたい。



教育サポート室「エール」

2 障がいのある人のさらなる支援を

「問題点」 小中学校に配置されている特別支援教育支援員については、現在校外学習において支援員が同行できず、対象児童が学びに集中できない状況がある。また、高校卒業後の進路について、特に不安を感じている保護者の声を多く聞くが就労支援の現状は。

「私の提案」 特別支援教育支援員の増員や、校外学習への支援員の同行を進めると共に、発達障がいのある児童を全ての教職員に共有して安心して働き続けられるような支援が必要と考える。

「市の回答」 これまで、支援員を毎年増加し現在38人配置しているが、今後の状況に応じて増員を検討したい。校外学習についても同行を踏まえた支援策を検討したい。教職員への発達障がいへの理解度は、全ての教職員が指導者になれるように施策を考えたい。また、就労支援については、関係機関と連携協力を取り合っており、安心して働き続けられる支援を行ってきたい。

3 水防災意識社会の再構築について

「問題点」 昨今の気象の変動や温暖化による多発する災害に、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を根本的に転換し、ハード・ソフト対策を一体化しての備えが重要である。

「市の回答」 市民の命を守るために、市民個人の個々の防災意識を勝る防災対策はないと考える。引き続き、啓発活動や防災訓練のあり方についても検討していきたい。また、避難所等の整備や、公共施設の改修等に合わせた耐震性能の強化等の防災対策機能向上に資する取り組みを行い、ハード・ソフト両面の取り組みを進めていきたい。

R2年2月28日定例会

1 防災・減災体制の充実について

「問題点」 防災予防の取り組みでは、災害時の被災状況等防災情報の速やかな伝達や、洪水浸水想定区域等危険区域の周知や避難に関する更なる啓発が必要と考える。

「私の提案」 危険区域を周知するための「防災マップ」の速やかな全戸配布と、災害情報を早急に周知するために、導入予定の「地図情報システム(GIS)」、消防本部が導入を進めている「Net-110緊急通報システム」を速やかに活用頂けるように周知してほしい。



宗像市防災マップ

2 コミュニティ・スクールの充実について

「問題点」 本市の教育施策の特徴の小中一貫教育を進めるために、文科省が提唱している「コミュニティ・スクール(CS)」をR1年度から2つの学園をモデル校として進めているが、地域の声として新規事業の導入だと誤解がある。と考える。「CS」の導入とは、これまで地域と連携した各事業を再認識し、進化させることだと考える。

「私の提案」 「コミュニティ・スクール」を進めるためには、各地域のコミュニティ運営協議会の連携を始め協働体制が必要だが、その調整役として「地域コーディネーター」の配置が必要と考える。

「市の回答」 既に各コミュニティ運営協議会にて、子ども達に関する活発な事業や、学校と一緒に取り組んでいる事業があり、新たな取り組みを考える前にこれまでの活動を見つめ直す事が重要と考える。「地域コーディネーター」の必要性については、各地域の状況によって変わってくるものであり、実情に合わせて検討していきたい。

3 人権が尊重される共生社会の実現へ

「問題点」 現在の社会では、情報化の進展による状況の変化に伴い、インターネット上での差別的書き込み等後を絶たない。そこで、国・県では人権擁護に関する法律や条例が施行されているが、本市では人権擁護条例がなく、今議会条例制定を目指している。条例制定後は、人権が尊重される差別のないまちを目指してほしい。

「市の回答」 本市では、平成15年の旧宗像市・旧玄海町との合併協議の際に、人権擁護条例を新市において改めて協議することになってきたが、今日まで包括的な人権擁護条例が制定されていなかった。この条例を、あらゆる差別的解消に向け取り組んでいくという市としての意思を明確にするものとした。